

森のコーヒー勉強会

多様性・環境・文化とコーヒー

コーヒーが生まれたエチオピアの森

今、世界中で愛飲されているコーヒーは、エチオピアの森がふるさとです。オロミア州から南部諸民族州にかけて、原種コーヒーノキの自生する森が広がっています。この森や原種コーヒーノキは、私たちと無縁ではありません。「環境」「生物多様性」「文化」をキーワードに、エチオピア、森林、コーヒー、そして私たちが考えなければならない課題について勉強してみましょう。

第4回：4月19日（日）13:15-16:15（受付13:00から）

行動編：環境・生産者・消費者をつなぐ仕組み

気候変動とコーヒー生産をめぐる生産者や企業の取り組みについて学び、消費者として何が重要かを考えてみます。

発表1：「フェアトレードと小農の自立：南アのレイボス茶から考える」池上甲一（近畿大学）

発表2：「気候変動とコーヒー危機：真に持続可能な産業に向けて」日比保史（CIジャパン）

発表3：「人と思いがつなぐサステナブルなコーヒー」若林 茜（スターバックスコーヒージャパン）

会場：JICA地球ひろば市ヶ谷 国際会議場

*新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止対策として、会場をスペースの広い国際会議場にしました。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 1 0 - 5

電話：03-3269-2911

募集人数 80名（申込順）参加費1,000円当日払

申込みサイト：<https://forms.gle/EchBYSvrPtLhw6xu9>

お問い合わせ：events[at]africa-rikai.net ・ 03-3758-5665



第1回：1月12日（日）13:30-16:30

導入編：大切な森の原種コーヒー

エチオピアの森林とそこに自生する原種コーヒーノキ、その森とともに暮らしてきた人々の文化を紹介します。

講師①重田真義（京都大学）

②吉倉利英（JICA）

③白鳥くるみ（アフリカ理解プロジェクト）

第2回：2月9日（日）14:00-16:00

経済編：コーヒーの流通

コーヒー流通と認証制度の仕組みから、気候変動や経済の変化と私たちの消費の関係を考えてみます。

講師①高橋遼（早稲田大学）

②牛尾恭史（アフリカスクエア）

③鈴木雅末（元青年海外協力

第3回：5月17日（日）13:15-16:15

環境編：環境運動とフェアトレード

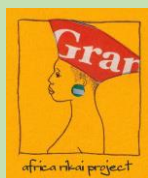
地球規模での気候変動や生物多様性という課題のもと、アフリカの森の現状やその周辺に暮らす人々の暮らしを守る取り組みについて考えてみます。

講師①坂口法明（JICA）

②高橋康夫（IGES）

③調整中（元青年海外協力隊）

3月8日から
変更されて
います



共催：アフリカ理解プロジェクト

www.africa-rikai.net

JICAエチオピア森林 コーヒープロジェクト

www.jica.go.jp/project/ethiopia/006/